梶原悠未さん 応援 レポート

修善寺女子オープン大会

2015 年5月16日（土）

「2年連続優勝と、日本新記録を狙います」

この大会の結果は、全日本大会への出場ポイントになる。すでに梶原さんは出場条件を満たしているが、しばらく大会もなく7月からは3ヶ月スイス遠征も控えているため、出場を決めたとのこと。

大学生主体のこの大会で、梶原さんは昨年、高校2年生ながら優勝している。レース前にお話を伺ったところ「昨年に続き、今年も優勝する」「日本新記録も狙う」とさわやかに意気込みを語ってくれた。

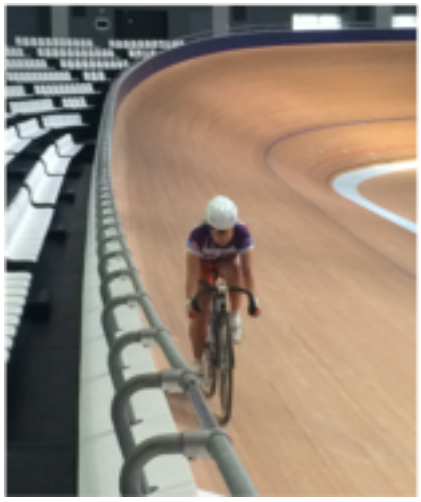
合宿での落車で、顔に傷できなくてよかった！
わかりやすく競技ルールを教えてくれました

苦手の短距離からレース開始

実は5月のエリート合宿で落車して打撲、練習不足だという。修善寺オープンは、トラック短距離2種と中距離2種、そして翌日のロード40 kmと合計5種で競われるハードなレース。昨年は短距離種目で2位、中長距離種目で1位の総合優勝だった。

まず、今回1種めの200mフライングタイムトライアル は3位、500mタイムトライアル は2位。短距離は苦手で、と梶原さんは言っていたが、練習不足の中でも順位を上げて行く様子が頼もしい。そして、タイムもちゃんと昨年より縮んでいる！

筑波大学坂戸高校の安達先生と。息もぴったりでした



練習中（左）スタート前の梶原さん（右）。トラック競技の世界標準仕様施設、伊豆ベロドームは1周250m。最大カント（斜度）は選手の運動能力のすごさがわかる45度。

出た！日本新記録、おめでとうございます

本日3戦目のインディヴィデュアル・パーシュート 2km※ 。安達先生の「ゆうみ、出るぞ記録！もっと踏んで！」の声が飛ぶ中、出ました！日本ジュニア新記録！

順位は 3 kmの選手との平均速度で決められる。そして1位の結果だ！おめでとうございます！なにより有限実行が素晴らしい。目の前で記録誕生の瞬間に立ち会わせてもらえた。梶原さんありがとうございます！

続いてはトラック最終種目ポイント トレース10km。10kmのなか で4カ所設けられたポイントラインでの順位合計により、勝敗が決定する。

次の周回がポイントラインであることを告げるベルが鳴ると、猛攻をかける梶原さん。抜きつ抜かれつ、ドキドキのレース展開を制してこれもポイント1位で終了！さすが、すばらしい！

観客席から降りて梶原さんと安達先生のもとに寄らせてもらうと、どうやら「マークがきつくて本来の自分のペースでレースができなかった」とのこと。勝っても妥協しない一流選手の姿も目の当たりにできた。

※ジュニア（高校生）は2km,
エリートは3km

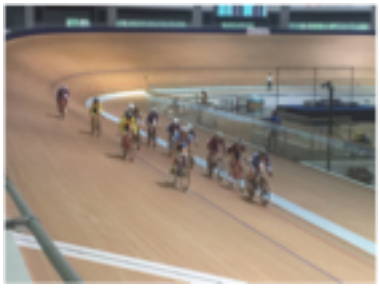
速すぎる梶原さん（前者）。タイムトライアル200 mでは時速57キロ超となる

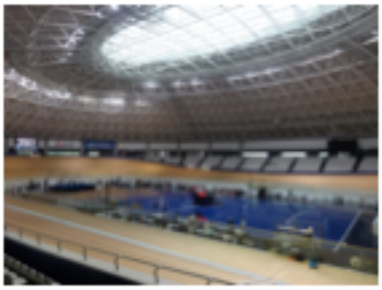
ロード40kmも1 位。総合優勝、2連覇

　翌日17日に行われた40 kmも1位でゴール！現地応援はできなかったが、安達先生より「ロードでは7周回目から単独走行に入り、昨年より約2分のタイムを縮め本人も世界戦に何とか弾みが出た模様です」とコメントいただけた。
　２日間の総合結果でポイント1位、2連覇を達成！

「今日の日本新記録を超えて、世界でメダルを穫ります」

16日のレース直後、梶原さんがインタビューに応えてくれた。
「今日は目標の日本新記録を達成できて良かったです。でもまだ課題があり、あと3秒は縮めて行きたい。これからは自分との戦い。さらにいい記録でジュニアを終えたい。
　今年は世界選手権3種目で金メダルを狙います。9月の世界選手権ロードでも金メダルを目標に頑張って行くので、応援お願いいたします」（財団フェイスブックに動画あり）
「ケガの影響で体に多少ゆがみ（安達先生）」という中で、大学生を制した梶原さん。これからも熱く応援していきたい！





木目が美しいトラック上の梶原さんは、舞台に立つ新進気鋭の女優（例えば黒木華）のように花があった。機会があればぜひ現地へ

5月16日・17の試合結果

Rank	氏名	Team	200mFT	500m TT	IP	PointR	Road R	Total
1	梶 原 悠 未	筑波大学附属坂戸高等学校	3	2	1	1	1	8
2	小島蓉子	日本体育大学	1	1	2	2	4	10
3	岡本二菜	スミタエイダイバールイズミラバネロ	6	5	4	3	8	26